

協定書に調印した小山英夫・藍野学院理事 長(左から2人目)とシャフリ・カムスール・アリフ・ハサヌディン大医学部副学長 (左から3人目)=大阪府茨木市で 2016年4月1日、米山淳撮影

[PR]

見て・試して・実感できます!

\*Gartnerが2015年3月に発表したレポートより出典

看護学科や作業療法学科を置く大学や短大を運営する学校法人「藍野学院」(茨木市高田町)は1日、インドネシアのハサヌディン大学、国際医療NGO「AMDA」(岡山市)とそれぞれ人材育成や社会貢献活動に関する協定を結んだ。

協定締結により、学生の交換留学や、教員による互いの大学での講義などを予定。八サヌディン大のフスニ・タンラ教授がAMDAインドネシア支部長を務めることからAMDAとも協定を結び、AMDAのスタッフが災害現場での医療について藍野大で講義することも検討している。

同大学のアルバスホールで調印式があり、 武田雅俊・藍野大学長は「協定締結により、 国際的な活動を促進させたい」と話した。

【米山淳】